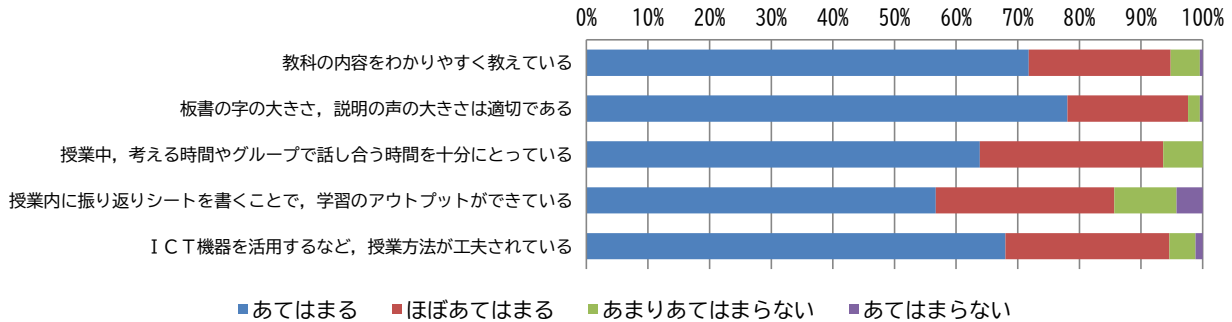


令和7年度 2学期 生徒授業評価アンケート

教科名	数学	重点目標	ICT等を活用した授業を展開し、話し合い活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとに振り返りやレポートでまとめるなどの作業を行うことで、学習内容をアウトプットできるようにする。
-----	----	------	--

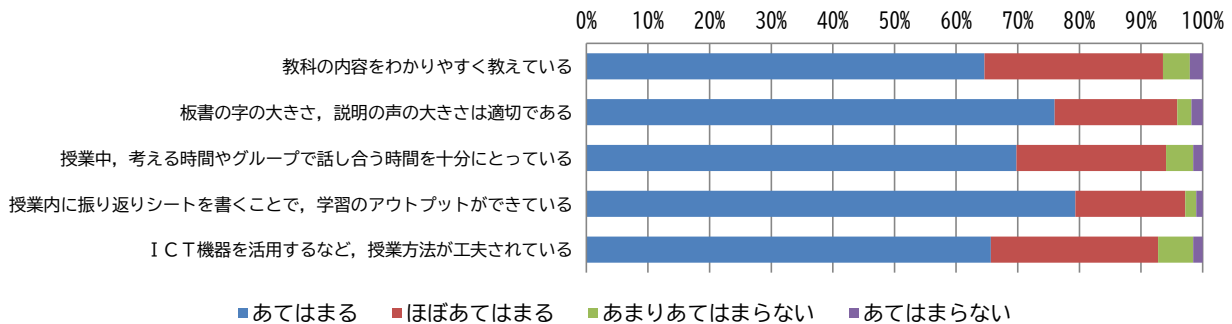
学習指導に関する現状と課題（2学期・生徒による授業評価アンケートより）

1年 数学



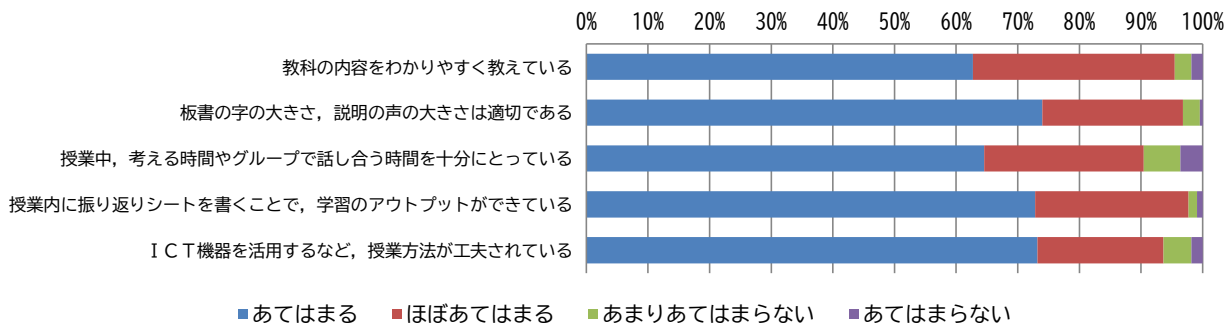
**分析** すべての項目について、あてはまると回答した割合が1学期よりも上昇している。特に統計の分野において、複数のデータに対してさまざまな分析を行って比較的に考察することをICT機器を用いて班ごとに行ったことで、「ICT機器を活用するなど、授業方法が工夫されている」、「授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている」の項目の数値が上昇した。今後も、講義形式の授業と生徒が数学的活動に取り組む授業のバランスに配慮し、生徒一人一人の数学的な資質・能力が向上することに向けて授業改善を図っていく。

2年 数学



**分析** すべての項目で90%以上の生徒から肯定的な意見を得た。1学期と比較すると、他者との話し合いの時間や、板書等を工夫することにより、ほぼすべての項目において上昇傾向が見られた。特に、学習のアウトプットができているという点においては、ただ授業内容を書くだけでなく、「何を学んだのか授業を思い出して書くこと」を意識して書かせたことで95%以上の生徒から肯定的な意見を得た。一方、「教科の内容をわかりやすく教えている」という項目においては、わずかながら否定的な意見が上昇していた。今後の授業においては、より一層の授業改善と生徒にわかりやすく伝えるということを意識して授業づくりに取り組んでいく。

3年 数学



**分析** 全ての項目で90%以上の生徒から高評価を得た。特に「板書の字の大きさ、説明の声の大きさ」については95%以上の生徒が高評価を示しており、生徒の満足度が高いことがうかがえる。「振り返りシートによる学習のアウトプット」についても、95%以上の生徒が「あてはまる」、また「ほぼあてはまる」と回答しており、3年間を通じた授業での振り返りにより、生徒が振り返りシートを十分に活用していることが伺える。ICT機器の活用に関しては、毎授業でタブレットのミライシードを用いて計算練習を行っており、その結果が出たようである。「考える時間やグループで話し合う時間」についてが相対的に低いので、それらを意識した授業スタイルを考える必要がある。